

\*…\*

## 持続可能なバイオマス利用に向けて メールマガジン 第3号

2011.12.29 NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク (BIN)

\*…\*

バイオマス資源の持続可能な利用にむけてのメールマガジン、第3号をお送りします。

~~~~~

■再生可能エネルギー電力買取 (FIT) 法の調達価格等算定委員会委員、決まらず  
「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」が2011年  
8月26日に成立し、2012年7月に施行されます。(法文など詳細は、下記をご参照く  
ださい。)

<http://www.enecho.meti.go.jp/saiene/kaitori/index.html>

11月17日、政府は再生可能エネルギー電力の買取価格や買取期間を検討する調達価格等算定委員会委員人事案を下記の通り、提示しました。

- 進藤孝生 (日本経団連地球環境部会長、新日鐵代表取締役副社長) 氏
- 山内弘隆 (一橋大学大学院商学研究科教授) 氏
- 山地憲治 (地球環境産業技術研究機構 (RITE) 理事・研究所長、元電力中央研究所研究員) 氏
- 辰巳菊子 (日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会) 氏
- 和田武 (日本環境学会会長) 氏

このうち進藤氏、山内氏、山地氏について「直接の利害関係者であったり、再生可能エネルギーの導入や固定価格買取制度に消極的な立場をとってきた」として、反対の声が上がりました。(例えば、<http://www.isep.or.jp/library/1784> 参照)

第179回国会は、12月9日に人事案について未決のまま閉会し、2012年の通常国会で改めて審議されることになりました。

FIT法については、どのように買取価格が決定されるか、どの時点で適用されるのか、系統接続の条件がどのようになるのかなどの詳細が未定であり、事業者からは事業計画を進められないとの声も出ています。

～……………～  
**■ バイオ燃料が世界の食糧生産用地を奪い取る**

世界のランドラッシュ（農地収奪）の主たる推進力は、価格高騰が急き立てる食料生産とわれてきました。しかし、International Land Coalition (ILC)が12月14日に発表した最も包括的な研究によると、7100万haに及ぶ世界の大規模土地取得の6割近くがバイオ燃料部門によるものとのこと。特にアフリカでは、この比率は65%を超えます。バイオ燃料が世界の貧しい国から食料生産用地を奪取しつつあります。

(<http://www.landcoalition.org/cpl/CPL-synthesis-report>)

(農業情報研究所サイトより転載)

～……………～  
**■ シンポジウム「東北復興を契機に日本を持続可能な社会へ～バイオマス資源の適正利用とFITを中心に～」で持続可能な森林利用について議論**

10月21日、東京・ビッグサイトで、シンポジウム「東北復興を契機に日本を持続可能な社会へ～バイオマス資源の適正利用とFITを中心に～」がバイオマス産業社会ネットワーク主催で開かれ、持続可能な森林利用について議論されました。

農林水産政策研究所の武本俊彦所長は、「バイオマスの持続可能な利用の必要性についての合意が、国際的に形成されつつある」、梶山恵司内閣審議官は「木質バイオマスは熱利用が主。FITや東北復興でもその点を抑えるべき」、NPO法人土佐の森・救援隊の中嶋健造事務局長は「自伐林家は大規模集約林業より面積当たり10倍以上の雇用を生み、持続可能な農山村づくりにも役立つ」、岩手・木質バイオマス研究会代表の伊藤幸男氏は「震災から3週間は盛岡でもガソリンが手に入らず、息をひそめて暮らしていた。エネルギー分散、エネルギー自治の必要性を痛感した」、W-BRIDGEの岡田久典氏は「FITの買取価格を間違えると制度全体が大変な問題を起こす、国土保全上の問題、輸入バイオマス、世界全体の問題にも波及する可能性がある」等、大変白熱した議論が行われました。

(当日の配布資料は、下記よりダウンロード可能です。)

<http://www.npobin.net/research/>

～.....～

◆お知らせ

自然エネルギーによる東日本再震災被災地支援を行う「つながり・ぬくもりプロジェクト」では、引き続き寄付を募集中です。被災者の方が利用する施設にペレットストーブ、薪ストーブ、バイオマスボイラーの設置を行っています。詳細は下記をご参照ください。

<http://tsunagari-nukumori.jp/>

～.....～

◆シンポジウム「海外農地投資（ランドラッシュ）の現状とバイオマスの持続可能な利用 ～日本は今後、どう対応すべきか～」開催のご案内

日 時：2012年1月18日(水)13:30～17:00

会 場：東京・国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟102

主 催：NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク、財団法人地球・人間環境フォーラム、国際環境 NGO FoE Japan

参加費：主催団体会員 無料、一般 1,000円

※詳細・参加お申し込みは、下記をご参照ください。

<http://www.npobin.net/apply/>

～.....～

このメールマガジンは、購読を希望された方、バイオマス産業社会ネットワークの会員、また過去に地球・人間環境フォーラム主催のバイオマス、バイオ燃料に関するイベントに参加された方等にお送りしています。

本メルマガを今後受け取りたくない方は、下記までご連絡ください。

e-mail: [mail@npobin.net](mailto:mail@npobin.net)

発行：バイオマス産業社会ネットワーク

協力：FoE Japan／地球・人間環境フォーラム

持続可能なバイオマス利用に向けて 調査研究・意識啓発事業

[http://www.gef.or.jp/activity/economy/stn/index\\_biomass.html](http://www.gef.or.jp/activity/economy/stn/index_biomass.html)

～.....～